



特集

定期演奏会に向けて 第1回オープンキャンパス報告 キャンパス整備基本構想が策定されました

【表紙モデル】今野俊郎さん(専攻科音楽専攻2年)、後藤早希さん(同)、大橋奈菜さん(音楽科2年)

vol. 40

音楽科最大イベント 第51回定期演奏会に向けて

音楽科最大のイベント「第51回定期演奏会」を10月12日(月・祝)、iichiko総合文化センターグランシアタで開催します。音楽科の全学生と全教員、卒業生らが出演者そしてスタッフとして総力を挙げて取り組みます。今年度はピアノに焦点をあてた構成となっています。本誌の表紙を飾る、注目のピアノ奏者である今野俊郎さん(専攻科2年)、後藤早希さん(同2年)、大橋奈菜さん(音楽科2年)の3人に聴きどころや意気込みを聞きました。

自身の4年間の集大成となりますね



後藤早希さん「ソリスト発表時、選ばれた驚き以上にやり遂げなければという責任を感じました。短大1年の定期演奏会で聴いたピアノコンチェルトの感動を今でも鮮明に憶えています。先輩方のように、そして自分らしく音楽が奏でられるよう頑張りたいと思います」



今野俊郎さん「発表時」掲示板を見てふるえました。憧れていたピアノコンチェルトが弾ける!! という喜びや、自分にこんな大役が務まるのか? という不安とプレッシャーなどありましたが、絶対成功させたいという気持ちでがんばっています」

先輩との共演について



大橋奈菜さん「オーケストラをバックにコンチェルトを演奏するということは小さい頃から夢でした。後藤先輩と2台のピアノで共演できることが非常に楽しみです」

モーツァルト「2台のピアノとオーケストラのための協奏曲」変ホ長調 KV365への意気込みを教えてください

後藤「音楽への積極性、オーケストラ、ピアノ2台の均衡など様々なパランスが要求されるピアノコンチェルト。楽章 場面にあった表現ができるよう、そしてこの曲はモーツァルトが姉・ナンネルと一緒に演奏するために書かれたものという説もあるので、ピアノ同士のかけ合いを通して、会話を表現できるようにしていきたいです」

大橋「私は2台ピアノ自体初めての経験ですが、この作品は2台で3度の音程を保って演奏する部分が多くあります。美しい旋律とハーモニーを自分たち自身も味わい、そして楽しみながら演奏できればと思います」

この曲の好きなところ、おすすめは?

後藤「この曲はモーツァルトが宮廷音楽家の地位を得るための1年半にわたるマンハイム・パリ旅行の折、パリの新しい音楽様式を取り入れただけでなく、旅中での失恋や母の死などといった苦難を乗り越え、表現・人格の幅を広げて内面的な深さが加わった時期に作曲されました。楽曲全体を通して陽気な気分を感じさせ

フクしたところから急に叙情的になったりする曲調や音色の変化を聴いて頂きたいです。技術的な難しさもありますが、多彩な表現をオーケストラと一体となって演奏できるように誠心誠意頑張ります」

もうすぐ本番ですね。その思いは?

後藤「先生のご指導、そしてオーケストラの皆さんの声に耳を傾け、課題を一つ一つ丁寧に消化していきます。当日は音楽に積極的に、そして楽しみながら演奏できるように頑張ります」

大橋「作品についてよく考え、共演者の方々の音をよく聴いて、少しでもモーツァルトの素敵な部分を表現できるように、作品とピアノとに真摯に向き合いたいと思います」

今野「ただひたすらに、精一杯、頑張ります!!」

●出演	大分県立芸術文化短期大学管弦楽団・合唱団、指揮：森口真司
●演奏曲目	○混声合唱／ブラームス作曲「ドイツ・レクイエム」より第2曲「肉はみな、草のごとく」 ○ピアノ協奏曲／モーツァルト作曲「2台のピアノとオーケストラのための協奏曲」変ホ長調 KV365 ピアノI(ソロ)後藤早希(専攻科2年)、ピアノII(ソロ)大橋奈菜(短大2年)、ラヴェル作曲「ピアノとオーケストラのための協奏曲」ト長調、ピアノソロ 今野俊郎(専攻科2年) ○管弦楽／ムソルグスキー作曲(ラヴェル編曲)「展覧会の絵」
●日時	10月12日(月・祝) 13:15開場/14:00開演
●場所	iichiko総合文化センター グランシアタ
●料金	全席自由 500円
●チケット発売場所	本学音楽科、市内各楽器店、トキハ会館3階プレイガイド ※音楽科副手室で予約を受け付け、公演当日会場受付で代金と引き換えにてチケットをお渡しいたします。
●問い合わせ	音楽科副手室 097-545-8758、E-mail: teien@oita-pjc.ac.jp



音楽科27年度コンサート一覧

芸短音楽科コンサートシリーズNo.81
若さあふれるコンサート～前期実技試験成績優秀者～
9月16日(木)18:00開場/18:30開演
iichiko 音の泉ホール/入場無料

芸短音楽科コンサートシリーズNo.82
ピアノコース演奏会～ピアノ音楽への誘い～
11月18日(木)18:00開場/18:30開演
iichiko 音の泉ホール/入場無料

芸短音楽科コンサートシリーズNo.83
管弦打コース演奏会～師走に心温まるひとときを～
12月16日(木)18:00開場/18:30開演
iichiko 音の泉ホール/入場無料

芸短音楽科コンサートシリーズNo.84
声楽コース演奏会～声の饗宴～
2016年2月10日(木)18:00開場/18:30開演
iichiko 音の泉ホール/入場無料

第54回卒業演奏会
2016年3月22日(木)17:00開場/17:30開演
iichiko 音の泉ホール/入場無料

第32回修了演奏会
2016年3月23日(木)17:00開場/17:30開演
iichiko 音の泉ホール/入場無料

※音楽科主催以外のコンサートについては裏表紙をご覧ください。

キャンパス整備基本構想が策定されました

50年余りの歴史を有し、公立短期大学として全国唯一の芸術系学科を有する本学が、現在の大大分市上野丘の地に移転して40年が経過しました。この間、平成4年には人文系学科が設置されるなど、本学では、時代のニーズに的確に対応した教育を推進し、芸術系と人文系との両輪で、地域に根ざした芸術文化人材の育成及び地域貢献活動に取り組んできました。一方、将来にわたって魅力ある教育を推進していくには、芸術系を中心とした施設のあり方について検討する必要性が生じていました。

このような状況を踏まえ、大大分県では、外部有識者を交えた「大大分県立芸術文化短期大学あり方検討委員会」を設置し、幅広く議論を重ね、本学の魅力をさらに高めるための方向性を、平成26年3月報告書としてまとめました。これを受けて、平成27年5月には、この報告書に示された新たなニーズにも応え得る施設整備の方向性に基き、魅力的で機能的な施設、芸術文化の進展や地域社会の発展に寄与できる人材が育成されるキャンパスを整備するための基本構想が、大大分県において策定されました。

今後、本学では大大分県と連携を図りながら、この構想の実現に向け、キャンパスの整備に取り組むこととしています。

第1回オープンキャンパス報告



平成27年度の第1回オープンキャンパスを7月19日(日)に開催しました。今年も多く生徒さん、保護者の方々にお集まり頂き、全体説明会、各学科のコース説明や入試相談などを行いました。

美術科では多彩な作品展示のほか、制作過程も直接見て頂きました。音楽科ではおよそ1時間のミニコンサートを開催しました。国際総合学科では留学生やネイティブ教員との語学体験などを行いました。情報コミュニケーション学科では心理テストやフラッシュアニメーション作りなど体験企画を多数用意しました。

第2回オープンキャンパスは9月13日(日)に開催します。ぜひご参加下さい。

芸短オープンカレッジ初コンサート



平成25年度に開講された芸短オープンカレッジ音楽講座。受講生の発表の場として初めてのコンサート「第1回芸短オープンカレッジコンサート」を5月31日(日)に開催しました。宮本修特任教授が「1回の舞台経験は100回の練習に勝る。その舞台を踏んだからこそ新たな音楽が生まれます。夢のようなコンサートを堪能してください」とあいさつをしました。20代から70代までの受講生の方々が「熊祭り(イヨマンテの夜)」や「Ave Maria」など、講座で磨いた歌声を披露しました。スベシャルステージでは愛甲久美准教授がオペラ「カルメン」より「ハバナラ」を、行天祥晃准教授が「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」を披露。中山欽吾学長が「歌は永遠だと思えます。聞いていて嬉しく楽しい時間が過ぎてしまいました」と述べ、受講生の方々を称えました。

日米草の根交流サミット開会式でOG・教員が演奏

第25回日米草の根交流サミットおおいた大会の開会式が7月8日(水)、別府市の別府杉乃井ホテルで行われました。日米の多くの市民が参加し、開式までの間、にぎやかに会話をし、交流を深めていました。歓迎演奏として、本学の卒業生と講師の5人が弦楽アンサンブルを披露しました。日米それぞれの市民になじみのある楽曲の弦楽アンサンブルに、人々は興味深そうに写真を撮ったり近くで鑑賞したりするなど、思い思いの形で開会式アトラクションを楽しんでいました。



青少年育成に取り組み方々を 対象に講座を実施

5月19日、21日、26日、28日の4日間、オープンカレッジの1環として「青少年リーダー養成講座」を「コミュニケーション」を学び「実践」を実施しました。この講座は、PTAや社会教育、野外活動やスポーツなど、青少年育成に取り組んでいる方々を対象に企画したものです。今回は、情報コミュニケーション学科の心理スポーツコースの教員3名(吉山・洲・藤田)と日本教育推進財団認定トレーナー(石本)が担当。「出会い」「コミュニケーション」「チーム作り」「子ども理解」をテーマに4回の講座を行いました。どの回も、受講生の皆さんにコミュニケーションの実習(エクササイズ)を体験していただきながら、自分の意思や考え、気持ちを上手にシエアするにはどうしたらよいかを共に学びました。



県民芸術文化祭ポスターを 本学学生がデザイン

10月から11月にかけて開催される第17回大分県民芸術文化祭「のポスター」を美術科デザイン専攻(ビジュアル)2年の三野彩夏さんがデザインしました。三野さんは「今までにない試みでしたが採用されて嬉



しいです。これから街の中に自分がデザインしたポスターが貼られるのかと思うとドキドキします」と語りました。

「学長プロジェクト」 ナガオカケンメイ氏が講演

7月13日(月)に学長プロジェクトとしてデザイン活動家・ナガオカケンメイ氏講演会が開催されました。学生や卒業生たちを前にナガオカ氏は「ロングライフデザイン」と題して、生活者のためのデザインについて講演。ナガオカ氏は、昔から地元にあるものの良さを再発見・発信する「デザイン活動」を行っている。その土地から生まれた個性的なデザインが土地の数だけあるのだと語りました。そこに新たなデザイン



OPAMで学生と留学生が交流

国際総合学科の大木ゼミ1年生10人と大分工業高等専門学校タイ人留学生のジャンさんとオームさんが大分県立美術館(OPAM)で交流を深めました。学生と留学生たちは学芸員から建物の構造や展示物の説明を受けたり、エントランスの巨大なオブジェを触ったりしてOPAMを満喫しました。美術鑑賞を通して自然な形で英会話と国際交流ができたようでした。



大分県立美術館の主任が語る OPAMの魅力

大分県立美術館(OPAM)の宇都宮壽・企画広報課主任が6月9日(火)、本学でOPAMの魅力について語る講演を行いました。OPAMのコンセプト「出会い」「五感」を軸に、会社員時代に海外で衝撃的な美術館に出会い、五感を大いに刺激された思い出を語りました。また館内の展示品などを解説。様々なアーティストがOPAMを形作っていることに触れ、出会い・繋がり・広がる美術館をアピールしました。学生たちは美術館周辺との連携について質問するなど、美術館と街づくりに関しても興味を膨らませました。



日経新聞1面に本学教授の コメントが掲載されました

7月22日(水)付の日本経済新聞1面に国際総合学科・植村修一教授のコメントが掲載されました。東芝の経営体制刷新に関する解説記事「企業統治はトップ次第」(コーポレートガバナンス(企業統治)とは何か)の中で、植村教授は「トップは企業の方針を社員に語る存在。企業統治はその方向付けがあって動き出す」とコメントしています。

学生が学外研修まとめ

国際総合学科が4月に行った学外研修について学生たちがゼミごとに報告を作りました。別府地獄めぐりについて玉井ゼミの学生11名はブログ形式で集約。各地獄の様子や外国人訪問者の目線について考えるという課題をまとめました。(大学HPに掲載しています)



日々是精進

日頃の努力が、賞の受賞や商品化など結果に繋がりました。

国際総合学科

◎ハンゲル能力検定試験に全員合格

国際総合学科の専門科目授業「検定韓国語演習」で、「ハンゲル能力検定試験」を受験した2年生17名全員が合格しました。合格した級は次の通りです。5級8名、4級13名、3級3名(併願あり)。

◎英検2級に5名合格

実用英語技能検定2級に国際総合学科の1、2年生5名が合格しました。

美術科(美術専攻)

◎展覧会入選報告

アートオリンピック2015入選/浦丸真太郎(専攻科2年)

◎展覧会情報

豊和銀行上野支店美術展/4月 高田恵実(専攻科2年)/5月 川田香子(専攻科2年)/6月 澤田真緒(専攻科2年)/7月 川崎麻由(美術専攻1年)

〈デザイン専攻〉

【九州学生デザイン展】

九州・沖縄におけるデザイン教育の成果を公にし、デザインの魅力を広く社会に発信するとともに、地域社会の活性化に貢献するという目的で、日本デザイン学会第5支部が中心となって毎年開催している展覧会。今年は6月17日(水)~27日(土)に福岡県で開催されました。受賞者と作品詳細は次の通りです。(作品名/氏名・学年等/詳細)



◎優秀賞

点字絵本「イタリアンねずみのポーピツァ」/大塚 智桂(美術科デザイン専攻・ビジュアルデザインコース2年次卒業制作)/障がいのある親子のための点字絵本です。貼り絵でできているので触ると動物などの形が分かり、目の見える人、見えない人も楽しめる絵本です。

TALARIA/尾崎 勝也(専攻科造形専攻・プロダクトデザインコース 専攻科1年次 造形研究I課題)/成形合板による曲面と、ペンディング効果をかいた下駄の提案。足に沿った形状と、踵のパネの効果によって、下駄の履き心地の向上を狙った。

OPAM×ACCESSIBLE「『出会いと五感』のポスター」/別府 穂乃華(専攻科造形専攻・ビジュアルデザインコース 専攻科1年次科目造形研究I(V)課題:美術館におけるコミュニケーションデザイン企画)/ポスター、イラスト、絵本、エディトリアルなど、グラフィックのデザイン、建物としての美術館の特徴を視覚的な造形として取り入れながら、美術館のテーマである「出会いと五感」を表現するポスターを制作しました。

〈作品賞 最優秀作品賞1点、作品賞5点(50音順)〉

◎最優秀作品賞

TALARIA/尾崎 勝也(詳細は前出)

◎作品賞

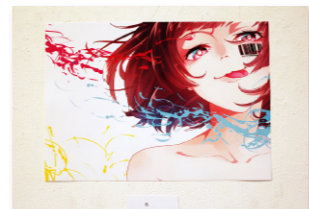
Fashion zakka「kibunya」のVI計画/大石 葉月(美術科デザイン専攻・ビジュアルデザインコース2年次卒業制作)/「心とファッションをデザインで繋ぐ」をコンセプトに、架空のファッションブランドを企画。その日の気分によって4つのキャラクターが楽しめる。

Cuddle baby buggy/佐々木 史織(美術科デザイン専攻プロダクトデザインコース2年次卒業制作)/抱っこ紐を使用する親の腰や脚への負担を軽減させるための支持機能を取り込んだベビーバギー。場面や成長に合わせた各ポジションで赤ちゃんを支える。

学内ギャラリー作品介绍(6・7月)

学内ギャラリーでは、美術科の学生の作品を展示しています。午前9時から午後6時まで一般公開しています。学外からお越しの際は、大学事務局にお声掛けください。

※9月以降の予定は裏表紙のEvent Calendarに掲載しています。



「film color」
デザイン専攻
メディアデザインコース2年
石原莉奈



「Tsumori」
専攻科造形専攻2年
東遥佳



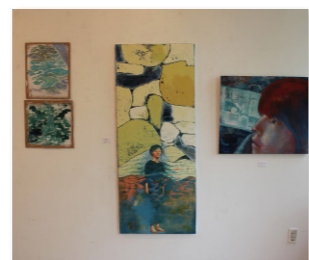
「青二彩」
デザイン専攻2年
石神晴菜・佐藤奈菜子
山之内明里・江藤陽香
齊藤佑希乃・田中理沙



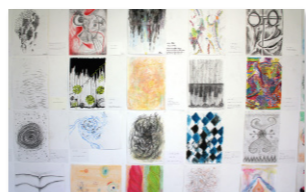
「竹の造形習作展」
デザイン専攻
1年生Aクラス



「卒業・修了収蔵作品展」
美術科



「なみ〜流れと形と行き先〜」
美術専攻2年
平川楓子



「ドローイング展2015」
専攻科造形専攻
1年11名

竹田キャンパス通信

活動報告

第10回チャリティーバザー(竹田市) トートバッグづくり 7月31日(金)



竹田市のチャリティーバザーの催しでトートバッグづくりのワークショップに行きました。なかには1時間以上かけて熱心に制作するチビ子達もいて、みんな素敵な夏休みの工作トートバッグを制作しました。



※竹田キャンパスは、廃校となっていた下竹田小学校(竹田市直入町)を利用して、地域と密着したさまざまなアート活動を行っています。

こちら竹田キャンパスも暑い夏(大分市内よりは全然涼しいです)が終わり、穏やかな秋のにおいがします。近所のお寺に頼まれていた真言かるたの挿絵をここ竹田キャンパスにて制作しました。文言はお寺の方たちが考えての共同制作。なかなか意味を理解するのに難しい文言もありましたが、説明を聞いていると奥深いものだと感じました。一点一点手描きで仕上げた素敵なかるたになりました。地域の方達にも大変喜んでいただきました。美術科非常勤講師 前田亮二

サービスラーニング報告

「大学で学んだことを地域で活かし、活動することで学びの意義を知る」ことを目的としたサービスラーニング。「単なるボランティア」では終わらない、主体性・協調性・論理性のある「社会人力」を育成するプログラムを組んでいます。詳細や他の活動は情報コミュニケーション学科HP(<http://oitapc-cis.jp/>)・同facebookでご覧いただけます。

たけた食育ツーリズム研修

1、2年生18人が7月18、19日(土、日)、たけた食育ツーリズム研修に行ってきました。竹田農家民泊グループ「きちよくれたたけ」の皆さんと顔合わせをした後、農家体験を楽しみました。夜明け前にメロ



おおいた七夕ガレリナイを実施

ガレリア竹町で7月7日(火)に、並べ、昨年ギネス記録を作ったアートスネークに電飾をして配置しました。ステージでは学生デュオLEAP、ダンスサークル、県庁吹奏ム広場から竹町商店街に廃油からつくった1300個のキャンドルを



府内学生エコフェスタを開催



6月13日(土)、あいにくの雨模様でしたが6回目の府内学生エコフェスタを実施しました。エコをテーマに学生目線で府内5番街の魅力を伝え、新たな客層を獲得するために企画。商店街との交渉、道路使用許可申請などの手続きや企

AQUA SOCIAL FES!!関の江・冷川に参加



AQUA SOCIAL FES!! (アクアソーシャルフェス)はトヨタと全国の地方新聞社、NPOなどが連携して実施する自然環境保全イベントです。6月6日(土)、ウミガメの

学友会情報

実行委員を募集中です!芸短祭やスポーツ大会運営など楽しいイベントばかりです。後期も毎週火曜日の18:00から人文棟101教室に集まります。興味のある方はお気軽にご参加ください。

学長コラム



学長 中山 欽吾

多彩な芸短フェスタ「知のアリーナ」も舞台

恒例の芸短フェスタが始まります。今年の特徴は、今まで以上に学生たちの活動範囲が大きく広がって、多彩な計画が立てられていることです。数年前のこの欄で、美術館の新設が決まったことに触れましたが、まさに今年はその県立美術館が完成して、ホールと一体となった文化ゾーンが完成しました。この環境を私は「知のアリーナ」と名付け、本学の学生たちのスポーツならめ頭脳の鍛錬にふさわしい芸術の場ができたことを喜んでいます。すでに学生の皆さんは、開館準備の段階から色々な点でこのアリーナの運営に関わって、それによって皆さん自身も磨かれるという、願ってもない連携が始まっています。しかも、それだけではなく平素から実践してきた様々な活動が大きな流れを作り始めていることにも注目です。

まず今年の芸短フェスタの多彩なラインナップを見ていきましょう。美術科が7件、音楽科が9件、国際総合学科が5件、そして情報コミュニケーション学科が3件となっています。芸短祭を含めると、なんと25ものイベントが計画されているのです。内容も多彩で、学生たちの研究・活動発表、地域へのアウトリーチやボランティア活動、アジアの国や学生との交流、市民参加型の講座やセミナーなど、本学ならではの計画がずらりと名を連ねています。

学生だけでなく、先生方も活動の輪に入って、一緒になって本学を盛り立てて行く姿が素晴らしいと思います。さあ、私も一緒になってこの芸短フェスタを楽しむことにしましょう。

秋の習い事！始めませんか 芸短オープンカレッジ 受講者募集

本学では、社会全体の学習ニーズの高まりに応え、地域社会に幅広い生涯学習の機会を提供することを目的とした「芸短オープンカレッジ」と「公開授業」を開講しています。

「芸短オープンカレッジ」は、日々の生活がちょっとだけ贅沢になるような趣味の講座をはじめ、ビジネススキルアップを目指す実践的な講座まで、本学ならではの個性的な講座を多数取り揃えております。現在、右表の講座でお申し込みを受け付けております。詳細は、本学HP・チラシをご覧ください。

「公開授業」は大学の講義を県民のみならず公開して、学生と机をならべて学んでいたという制度です。「公開授業2015後期」の募集は終了しました。多数のご応募ありがとうございました。

お問い合わせは、「公開授業」「芸短オープンカレッジ」担当(TEL:097-545-0542)まで、お気軽にお電話下さい。

募集中の講座

- オペラ講座 初心者コース・経験者コース
- はじめて起業する人のための事業計画づくり“初歩の初歩”
- パソコンAccess入門講座
- 油彩画教室
- 陶芸講座B
- コラグラフ版画
- シルクスクリーン版画
- 染色講座
- 石彫講座(レリーフ制作)
- 中級・上級ピアノ講座
- 音楽個人レッスン
- 音楽グループレッスン
- 音楽鑑賞講座
- 音楽理論講座 応用
- VIVA ITALIA!
- ! HOLA ESPANA!
- 第4期ヨーロッパ講座
- 英語でめぐる世界遺産
- ファイナンシャルプランナー資格3級取得講座
- 自分戦略デザイン講座
- 実践デジタルビデオ講座
～結婚式・運動会等身近なイベントをビデオに!～
- 名作に学ぶ映画鑑賞
～新・午前10時の映画祭を十倍楽しむ～
- ワープロコース1～5
- 表計算コース1～5
- カuttingマシンによるステッカーづくり
- 3Dモデリング&3Dプリンターによる成形
- LEGOロボットプログラミング

「芸短フェスタ2015」が開幕

「芸短フェスタ2015」が9月、開幕しました。学生、教員が一丸となって、美術展に音楽会、国際交流など多彩な25のイベントをご用意しました。今年で10回目となり、ますます内容が充実しています。芸術の秋を0～3000円で満喫できる、他にない祭典。1つでも全部でも、ぜひ足を運びください。

※イベント詳細は大学HP、リーフレットをご覧ください。リーフレットは本学事務所のほか、iichiko総合文化センター、ホルトホール大分などにも設置しております。

Event Calendar

9月 September

- 3日(休)～6日(日) 交差展 ～art exhibition8～
- 10日(休)、11日(金) 音楽科地域巡回演奏会
- 10日(休)～18日(金) 学内ギャラリー「Corlo」
- 12日(土)、13日(日) 音楽科夏期講習会
- 13日(日) 第2回オープンキャンパス
- 16日(火) 芸短音楽科コンサートシリーズNo.81 若さあふれるコンサート
- 18日(金)～27日(日) ideal Fit
- 24日(休) 後期履修登録開始
- 25日(金)～30日(火) 学内ギャラリー「イラストレーション特講作品展」
- 30日(火) オペラガラコンサート2015

10月 October

- 1日(休)～6日(火) 学内ギャラリー「4人のごちゃごちゃ」
- 3日(土)予定 国東コスプレ秘郷巡り「コスめぐ」
- 7日(火)～13日(火) 学内ギャラリー「裸足×華」
- 10日(土)～12日(月・祝)、14日(水)～29日(休) 大学連携パラダイムシフトアートプロジェクト
- 12日(月・祝) 第51回定期演奏会
- 14日(水)～20日(火) 学内ギャラリー(内容未定)
- 17日(土)予定 学生による国際理解教育研究の成果発表ワークショップ(予定)
- 21日(火)～26日(月) 学内ギャラリー「ボオルベン画展:oto聴L=L箱」
- 24日(土)、25日(日) 第54回芸短祭
- 27日(火)～11月2日(月) 学内ギャラリー「少女戦士☆第3話」
- 30日(金)、31日(土) 佐藤美枝子客員教授声楽公開レッスン
- 10月、11月予定 地域ふれあいアート講座
- 10月、11月の1週間予定 東南アジア交流ウィーク
- 10月～12月予定 小林道夫客員教授声楽特別レッスン
- 10月～12月予定 ふるさとスケッチ

11月 November

- 3日(火・祝)～10日(火) 学内ギャラリー:スロヴァキア・ウィーク関連の展覧会
- 4日(水)～10日(火) スロヴァキア・ウィーク
- 5日(休) 第6回大分国際車いすマラソン大会交流イベント
- 6日(金) 「大分国際車いすマラソン大会 海外選手とTALK SHOW」
- 11日(火)～17日(火) 芸短教員によるジョイントコンサート～3大Bのタベ～
- 11日(火)～17日(火) 学内ギャラリー「自然の身体、組織」
- 14日(土)予定 公開シンポジウム「日本とミクロネシア地域のつながり」
- 18日(火) 一対日感情の形成と国際教育協力(予定)
- 24日(火)～30日(月) 芸短音楽科コンサートシリーズNo.82
- 28日(土) 第6回ピアノコース演奏会～ピアノ音楽への誘い～
- 11月下旬予定 学内ギャラリー(内容未定)
- デザインスクール ミニアメリカ映画祭

12月 December

- 1日(火)～7日(月) 学内ギャラリー「ストライプ」
- 1日(火)～26日(土) 市民参加による巨大モザイクアート展
- 8日(水)～14日(月) 学内ギャラリー(内容未定)
- 9日(火) Opera Piena di Vita 第20回公演オペラ「フィガロの結婚」
- 15日(火) 創作音楽劇「メンデルスゾーンの生涯」
- 15日(火)～21日(月) 学内ギャラリー「彫刻と絵画」
- 16日(水) 芸短音楽科コンサートシリーズNo.83
- 18日(金) 管弦打コースコンサート～師走に心温まるひと時を～
- 23日(水・祝) パーカッショングループプレミアム 17thコンサート
- 冬期休業開始

※緑字は芸短フェスタイベント。イベント情報は変更になる場合があります。

情報をいち早くGet!

(大学ホームページ)

<http://www.oita-pjc.ac.jp/>



芸文短大

検索



大学公式facebook



音楽科



美術科ジュエルデザインコース



国際総合学科



美術科メディアデザインコース



情報コミュニケーション学科